

令和2年第34回定例公安委員会会議録

開催日時 令和2年12月3日(木) 午前11時10分～午後2時20分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時10分

2 出席者

公安委員会 衣笠委員長 勝部委員 久本委員

警察本部 川島警務部長 柴田首席監察官 河本生活安全部長
長谷高刑事部長 保田交通部長 谷村警備部長
本庄警察学校長 濱口情報通信部長 柳清鳥取警察署長

(事務局等～松本公安委員会補佐室長、総務課員)

3 議題事項

令和3年鳥取県警察運営指針等の策定等(警務部)

警察本部

令和3年の鳥取県警察の大綱方針となる運営指針と治安向上のために取り組むべき施策の方向性を定める重点目標及び推進項目を策定する。

運営指針は変更なく、「県民の期待にこたえる警察」、サブタイトルは、「安全で安心な鳥取県をめざして」である。

運営指針は昭和62年から大綱方針として設定しており、県警察が目指すべき普遍的な方針であることから、特段の事情がない限り安易に変更するものではないと考えており、来年も継続とする。サブタイトルは平成19年から同一であり、県民が警察に求めるものを端的に表していることから、来年も同様とする。

重点目標は、「総合的な犯罪抑止対策の推進」、「重要犯罪等の検挙と組織犯罪対策の推進」、「交通死亡事故抑止に資する総合対策の推進」、「テロの未然防止と緊急事態対策の推進」及び「警察活動基盤の充実強化」の5項目であり、本年と変更はない。これらの項目は、県警察にとって極めて重要な現実の課題であり、継続的に取り組むべきものとして認識している。推進項目は重点目標を達成する

ための各論に当たるものであり、目標達成のために必要不可欠な施策の方向性を網羅的に列挙している。

運営指針等については、職員及び県民に対する効果的な周知を図ることを目的として、掲示物デザインを選定している。本年も職員からデザイン案を募集し、職員による投票結果や知的財産権保護等を総合的に勘案し、選定した。これらは執務室で掲示するなどして周知を図るとともに、各種研修等の機会を通じて組織全体への浸透を図り、県民の期待にこたえる活動を強力に推進していく。

委員

詳細について事前に説明を受けている。掲示物デザインも良いものだと思う。

委員

県警察の目指すべき方向性に変更はないが、社会情勢は変化していくので、推進項目の先にある具体的施策についてはPDCAサイクルを回し、対応していただきたい。

委員

重点目標等は他県と比べてどうか。また、鳥取県ならではの内容はあるか。

警察本部

ポリシーは平均的だと考えている。各項目は警察の普遍的な業務であり、治安維持に必要な方針である。鳥取県ならではの具体的な施策は、情勢に応じ、その都度柔軟に取り組んでいく。

委員

このとおり決裁する。来年も県民のための活動をよろしく願います。

4 報告事項

- 令和3年鳥取県警察嘱託警察犬等嘱託書交付式の開催（刑事部）
- 警察学校教官との意見交換会の開催（鳥取警察署）

(1) 令和3年鳥取県警察嘱託警察犬等嘱託書交付式の開催（刑事部）

警察本部

本年12月4日、警察本部において、令和3年鳥取県警察嘱託警察犬等嘱託書交付式を開催する。

当日は、嘱託警察犬のほか、嘱託警察犬所有者、嘱託警察犬指導手に出席して

いただき、囑託警察犬所有者及び同指導手に対し、本部長から囑託書を交付する。

委嘱期間は、令和3年1月1日から同年12月31日までの1年間であり、シェパード、ラブラドルリトリバー等8頭を委嘱する。

委員

飼料代やワクチン代などは予算措置しているか。

警察本部

出動に対する謝礼のみである。

委員

出動状況はどうか。

警察本部

行方不明事案での出動が多い。

委員

警察犬の育成には時間や費用がかかると思うが、指導手や所有者の方に御協力いただき、本当に有難い。警察犬は重要な存在であり、警察犬の活躍や必要性について県民に分かるよう伝えていただきたい。

警察犬は、東・中・西部の全地区にいるか。

警察本部

東部と西部のみである。

(2) 警察学校教官との意見交換会の開催（鳥取警察署）

鳥取警察署

警察学校に入校した初任科生は、大学卒業程度採用は6か月、高校卒業程度採用は10か月にわたる教養を経て職場実習生として警察署に配属され、その実習が終了すれば初任補修科生として再度警察学校に入校する。

当署にも本年9月に警察学校を卒業した初任科生が配属され実習中であるが、それぞれの個性や能力に応じた教養を行う必要があり、画一的な教養では育成できない。そこで、実習生が感じた警察学校で学んだことと現場の相違点等を教官と実習指導員が共有して効果的な指導を行うことや、実習生に対する所感等を情報交換して今後の指導に生かし、早期育成に繋げることを目的として、警察学校教官との意見交換会を開催した。

同会は、11月5日に警察学校において行い、当署からは、地域交通管理官、地域課長、指導員が出席した。指導員からは、指導員の立場から見た実習生の業

務に対する姿勢や、コミュニケーションを含めた指導の難しさについて意見があった。実習生からは、学校教養に対する意見や、実際に現場に出て困ったことについて意見があった。教官からは、初任科生の現状等のほか、若手に積極性を持たせるには疑問点を聞きやすい関係にするなど、指導員との良好なコミュニケーションが必要であるなどの意見があった。また、当日は教官が実際に授業を行っている様子を見学し、指導員としても指導方法を学ぶ良い機会となった。

この度の意見交換会を経て、学校教養と現場教養で各々独立しがちであった教養に一体感が醸成されるとともに、若手警察官の育成には長期的な視野を持って臨む必要があると改めて認識した。このほか、当署では若手育成の取組の一環として、採用5年未満の職員で構成する「新芽の会」を月2回開催しているが、活発な協議を通して企画力や判断力が養われ、とても機能している。若手が意欲を持って働き、自分のなりたい警察官像に近づけるよう、今後も各種取組を推進する。

委員

最初の教養は今後に影響するので大切だと思う。警察署においても、しっかりと育成に取り組んでいると感じた。

委員

若い職員は、県民の方が年上であり対応に苦慮することも多いと思うが、頑張っていたきたい。

委員

人材育成はどの組織も課題だと思うが、育成なくして組織の維持、発展はない。若い世代は感覚も変わってきているが、それに応じて対応し、相互にフィードバックされているので、非常に良い取組をされていると思う。

鳥取警察署

引き続き、県民の安全・安心のため、警察学校と連携して育成していきたい。

5 その他

岡山県内における発砲事件の発生（刑事部）

警察本部

本日、岡山県倉敷市内において、暴力団員による拳銃使用の建造物損壊事件が発生した。抗争に起因するか否かは捜査中であるが、本県でも警戒活動を強化するよう手配している。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取6件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 報告事項

- ・ 審査請求関係
- ・ 警ら活動関係
- ・ 暴力団排除活動関係
- ・ タンデム自転車関係

3 決裁

- ・ 令和3年鳥取県警察運営指針等の策定等
- ・ 審査請求関係

4 公安委員会委員間の事前検討・協議等

5 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。